

～卒業式まであと23日、終業式まであと36日～

生活指導だより
第95号

そろえる

溝辺中学校
令和6年2月19日発行

インフルエンザ流行発生警報 発令中

神割池 校長室便り第31号 R6.2.19 (月)より

～防御は最大の攻撃なり～

2月も下旬に向かいます。日増しに寒さの和らぎを感じるとともに日の入りも少しずつ緩やかになってきました。霧島連山付近では既に山桜が咲き出し、春の足音が確実に近づいてきています。期末テストが終わってホッと一息・・・といきたいところですが、公立入試にドリカム&まとめテストと、まだまだ気は抜けないのではないかと思います。

そんな折ですが、一時期落ち着いていたインフルエンザ&コロナが、その勢いを盛り返しつつあります。年末から1月上旬に流行し、県内で2500名に迫る時期もありました。一旦下火になっていましたが、1月下旬から再び猛威を振るい始めています。2月上旬では鹿児島市と霧島市のみで、その傾向が強く見られていましたが、現在は右1のような状況で薩摩半島だけでなく大隅半島をも飲み込み、ほぼ県全域がオレンジ色（5段階中の5）に染まりつつあり、全体的に感染が拡大していることがわかります。

そして、霧島市に焦点を絞ってみますと2のとおりです。マップでは、本校も含めて市北部の中学校区は現在のところ、小康状態だといえますが、市街地区は1月中旬から感染者が増加し、現在も流行が継続しています。霧島市全体で見ますと、小・中・高校のインフルエンザ感染者は先週末で【2/16(金)】時点で236名、(小180名、中47名、高9名)コロナウイルス感染者は36名という状況です。特にインフルエンザについては、3週連続で200名を超えており、なかでも市南部での感染が顕著なようです。また、学級閉鎖については国分、隼人地区を中心に4学級となっています。ただこれについては多分、先週末で閉鎖を終え、本日から通常に戻る学校がほとんどであろうと思います。

このまま、沈静化してくれることを願うばかりですが、本校も第2回定期テスト前の11月中旬に、感染が短期間で拡大し1年生を3日間閉鎖したことがありました。何より心配なのは3月5日(火)、6日(水)の公立高校入試です。今年からは追試日程は組まれず一発勝負となっており、この2日間を逃した場合、もしくは別室受験＝体調が思わしくなく力が発揮できなかった場合は二次募集にすぎないからです。この感染症対策ばかりは、“防御が最大の攻撃”かと思っています。今回は全職員そして全生徒で意識し、全校態勢で乗り切りたいところです。ここからの様相は、常々言われている言葉のとおり「受験は集団戦」。まずは、普段のうがい・手洗い・マスクなど、感染防止を徹底して参りましょう！

